



# 2019 がまごおり 海と風 RACE



期日 平成 31 年 7 月 14 日 (日) 海と風 Race

開催地 豊田自動織機海陽ヨットハーバー 〒443-0014 蒲郡市海陽町 1 - 7 共同主催 愛知県ヨット連盟、海陽海洋クラブ

協賛 (後日)

## レース公示 (Notice of Race)

2019.05.10

### 1. 規 則

- 1.1 本レガッタは セーリング競技規則 2017-2020 (以下規則と言う) に定義された規則、「入門競技規則」を適用する。
- 1.2 RRS 61.1(a) の変更として、『抗議しようとする艇は、フィニッシュ後、直ちにフィニッシュ・ラインに位置するレース委員会艇に 被抗議艇のセールナンバーを伝えなければならない。』を追加する。
- 1.3 A海面は、付則 P (オンザウォータージャッジ) を適用する。

### 2. 艇種・クラス分け・参加資格及び申込み

- 2.1 本レガッタは (A海面) = O P級 ① **ゴールド** ② **シルバー**  
(B海面) = O P級 ③ **ブロンズ** の 3 種目が、①～③ のフリート分けをされて参加できる。
- 2.2 ①は 2019 年度 JSAF と JODA の会員であること。②③ は非会員でも参加できる。
- 2.3 下記に **2019 年 7 月 4 日 (木)** までに 振込およびメールにて 申し込み手続きを完了すること。  
【 7 月 5 日より 7 月 **10** 日 まではレイトエントリーで受付します。】  
【ただし、③ブロンズはレイトエントリーはありません。また、5 艇以上の場合に開催します。】  
【レガッタ事務局 / 鉄本 気付 kaiyo.yacht.club@gmail.com】  
お振込先：ゆうちょ銀行 記号 12150 番号 47634231 カイヨウカイヨウクラブ  
エントリー費：4,000 円 (7/13 プラクティスエントリー費は別途 1,000 円)  
レイトエントリー費：プラス 1,000 円
- 2.4 上記参加料には [艇置き料](#)、[給水施設利用料](#) が含まれる。

### 3. 選手の肖像権

本レガッタ終了後に SNS で写真等の配信を予定しているために 大会期間中の選手の写真は、大会実行委員会に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

### 4. 大会のスケジュール

7 月 13 日 (土)	プラクティス受付	10 : 30 ~	
	選手コーチミーティング	11 : 30	
	プラクティス第 1 レースの予告信号	12 : 55	(③ブロンズも A 海面にて同時スタート) (①ゴールド→ ②シルバーの順でスタート)
7 月 14 日 (日)	受付	8 : 30 ~	
	開会式	9 : 00 ~	
	選手コーチミーティング	9 : 10 ~	
	最初のレースの予告信号	9 : 55	
	引き続き 合計 4 レースを実施予定 (③ブロンズのレース数はレース委員長の 裁量による。)		
	表彰式	17 : 00	

※ 変更する場合は 公式掲示板にて公示される。

### 5. 帆走指示書



7月5日以降に海陽海洋クラブHPから入手できる。

## 6. レースエリア

1 レースエリアは 右図の通りである。

## 7. コース

- ①ゴールドはトラペゾイドコースを予定する。コースは帆走指示書で指示する。
- ②シルバーは上下コースを予定する。コースは帆走指示書で指示する。
- ③ブロンズはトライアングルコースなど複数コースを予定する。10knot以上の風の場合は中止の可能性がある。コースの選択はブロンズクラスのレース委員長の裁量による。

## 8. 得点

- 8.1 ①②は 全 4 レース、③はできるかぎり行う。①②③共に、シリーズの成立には、1 レースを完了すること。
- 8.2 2019 年 海と風レースが天候その他により不成立となった場合には、プラクティスレースの成績をもって大会の成立とします。

## 9. 賞

- |     |      |              |            |
|-----|------|--------------|------------|
| 9.1 | ゴールド | = 優勝、2 位、3 位 | = 賞状 及び 副賞 |
|     | シルバー | = 優勝、2 位、3 位 | = 賞状 及び 副賞 |
|     | ブロンズ | = 優勝、2 位、3 位 | = 賞状 及び 副賞 |
- 9.2 全日本への推薦 = ゴールドフリートの上位を、**2019 年**に開催予定される 第 51 回全日本オプティミスト級セーリング選手権の大会枠を日本 OP 協会に申請する。

## 10. 主催者の免責

- 10.1 このレガッタ競技者は 自己の責任でレースに参加する。規則 4「レースすることの決定」を参照のこと。
- 10.2 主催団体は、レガッタの前後、期間中、に生じた 物理的損害または身体傷害 もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 11. チーム支援艇 及び レスキュー艇

- 11.1 チーム支援艇は 主催者から承認・管理された艇のみが許可される。
- 11.2 レース中は、コースエリアから余裕を持って離れ、また、レース中以外でも、陸上・海上を問わず、レース委員会のコントロールに従うこと。
- 11.3 非常の場合や悪天候に対して警戒が必要で、かつレース委員会から指示があった場合には、チーム支援艇はレスキュー艇としての活動すること。
- 11.4 チーム支援艇の代表者は、悪天候の予報がある場合には 救助体制ミーティングに出席すること。

## 本レガッタのガイドライン

本レガッタは、OP を始めたばかりの選手にも 一つの大会としてセーリング競技を 安全に楽しんでいただく事を 目的として OP 級には 3 つの 選択肢があります。

■ クラス分けガイド ① **ゴールド** = 上級レベル、② **シルバー** = 中級レベル、③ **ブロンズ** = 初級レベル

■ ① **ゴールド (上級) の エントリー基準** なし

- ② **シルバー (中級) の エントリー基準**
1. 2019 年度全日本大会出場枠を持っていない事。
  2. これまでに全日本で 100 位以内に入っていない選手
  3. レース中に 約 800m 風上にある A 海面の 1 マークまで帆走できる選手。

■ ③ **ブロンズ (初級) の エントリー基準** レース中に 約 800m 風上にある A 海面の 1 マークまで帆走できない選手。

■ コースについて

■ 強風時の公正で、楽しく、安全なレース運営を心掛けています。指導者におかれましては冷静な判断により、強風帆走に不安な選手には 出艇見合わせへのご指導をよろしくお願いいたします。

■ 昼食 各自で準備して下さい。昼食が、海上となるか、陸上となるかは出艇時、或いは海上にて指示します。ただし、ブロンズフリートは、陸上にて昼食です。

## その他の情報

- 宿 泊 参考までに、以下をお知らせします。申し込み、支払いは各自の責任にてお願いします。

Hotel A to Z 愛知蒲郡 TEL 0533-58-2000 蒲郡市 大塚町

海岸荘 TEL 0533-68-3388蒲郡駅前南

三長 TEL 0533-68-3145

蒲郡ホテル TEL 0533-68-1300三河三谷駅北

王将 TEL 0533-69-6527蒲郡駅前南

- 支援艇 持ち込みは各自でハーバー管理事務所に申し込み/支払いをしてください。



# Introductory Rules for Racing

## 入門競技規則 OP-B 修正版 Ver.2012.02

この規則は、これからレースを始めようとしていて、レース経験が2年未満のセーラーのために書かれている。

**用語の解説風上と風下：** メインセールの出ている側を、艇の**風下側**という。その反対側を**風上側**という。

**ポートタックとスターボードタック：** 艇は、その**風上側**に応じて、**ポートタック**または**スターボードタック**にあるという。

**アドバイザー：** 競技者がルールを理解するのを助けるために、また、必要な場合には艇にはペナルティーを与えるために、レース主催者に指名された人。

### 基本規則

1. スポーツマンシップの原則に従うこと。
2. 他の艇と衝突しないよう努力すること。

### 艇が出会った場合の規則

3. 自分と相手艇が**反対タック**の場合、自分が**ポートタック**なら、**スターボードタック**の相手艇を避けること。
4. 自分と相手艇が**同一タック**の場合、また次の場合は自分が相手艇を避けること：
  - (a) 相手艇が自分の前にいる場合、または、
  - (b) 相手艇が自分の**風下側**にいる場合。
5. スタート後に、マークまたは避ける必要がある物体に自分と相手艇が近づいている場合で、相手艇がそのマークまたはその物体と自分との間にいる場合には、自分と同じ側を安全に通過するための十分なスペースを相手艇に与えること。ただし、風上マークで両艇が**反対タック**の場合には、この規則は適用しない。
6. 相手艇が自分を避ける必要があるときに、自分がコースを変更する場合には、自分を避けるための十分な機会を相手艇に与えること。

### その他の規則

7. スタート信号の時には、スタート・ラインより後ろにいること。
8. スタート信号後は、レース主催者が説明したコースを帆走すること。
9. パドリング、スカリング、ロッキング、パンピングによる推進方法の違反をしてはならない。
10. もし違反をしてしまったら、一回の**タック**と一回の**ジャイブ**をして一回転のペナルティーを行うこと。この時は他の艇を避けること。
11. 自分または他の艇が規則に違反したと思った場合や、レース中のどんな場面でもそのとき適用される規則

がはっきりと分からなかった場合には、そのとき起こった事をレース後にアドバイザーに説明すること。

その場合、アドバイザーは、規則に違反した艇の得点に2点を加えることがある。その違反が重大な場合には、それ以上に得点を加えることもある。

### レース主催者の責任

- (a) 公正で、楽しく、安全なレースを運営すること。
- (b) スタート信号の手順、スタート・ラインとフィニッシュ・ライン、帆走するコースと回航するマークについて、すべての競技者に伝えること。
- (c) フィニッシュ順位と同じ得点を各艇の得点として記録すること（必要ならばハンディキャップの調整をして）。
- (d) レースの規則と手順についてのアドバイザーを指名すること。

風向

